

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農業	農業簿記	2	3	全学科	選択

科目のねらい	<p>集落営農の法人化や個人農家から法人経営の転換が増加する現在、農業簿記によって計数管理がなされる農業経営の必要性が高まっている。本科目では、複式簿記による農業の帳簿作成、記帳の知識を身につけると共に、積極的に農業経営の改善をめざそうとする意欲と態度を身につける。また、農業簿記の検定にも挑戦する。</p>
--------	--

使用教材など	農業簿記検定教科書3級（大原出版） 農業簿記検定問題集3級（大原出版）
--------	-------------------------------------

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4 } 7	27	第1章 農業簿記の概要 ・損益計算書と貸借対照表の作成 第2章 簿記一巡の手続き ・取引と仕訳、転記 ・仕訳帳と総勘定元帳の作成 ・主要簿と補助簿 ・試算表の作成 第3章 勘定科目 ・農業簿記の勘定科目	<ul style="list-style-type: none"> ・農業簿記の目的を理解する。 ・収益と費用を理解する。 ・資産、負債、純資産を理解する。 ・損益計算書と貸借対照表を作成できる。 ・取引を理解し、仕訳と転記ができる。 ・仕訳帳、総勘定元帳、試算表が作成できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・農業簿記の勘定科目を理解する。
二 学 期	8 } 12	28	第4・5章 流動資産と流動負債 等 ・流動資産、流動負債、固定負債 ・資本金 第6章 固定資産 ・有形固定資産 ・減価償却 第7章 決算書 ・決算の流れ ・決算の手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産、流動負債、固定負債、資本金を理解する。 ・固定資産について理解する。 ・決算の手続きができる。 ※11月農業簿記3級受験
三 学 期	1 } 3	3	・経営分析と診断	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に経営の分析と診断ができ、改善しようとする姿勢を身につける。

評価の観点				
観点	a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現	c : 技能	e : 知識・理解
観 点 の 趣 旨	農業簿記に関心と意欲を持ち、関連する技術を身に付けるようにする。	実務に即した例題を取り入れた学習や取引を通して、適正な記録の取り方について考察することができる。	適正な取引の記録と財務諸表の作成ができる。	簿記の原理を理解し、取引や決算に関する知識と技術を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、)	記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期テスト 小テスト

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	1年に4回行います。普段の授業に集中して取り組んで下さい。	70 点
②授業	定期テストごとに回収し点検します。毎時間しっかり取り組んで期日までに必ず提出しましょう。	30 点
③課題提出	出された課題に真剣に取り組み期日までに提出しましょう。	